

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2019 年 10 週 (3 月 1 週 3/4 ~ 3/10)

2019 年 2 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、伝染性紅斑、麻しん・風しん
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、感染性胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱、RS ウイルス感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(34)、細菌性赤痢(1)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、A 型肝炎(1)、デング熱(1)、レジオネラ症(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(6)、梅毒(7)、百日咳(14)、風しん(4)、麻しん(3)

2019 年 2 月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
3 月 4 日	春日井、知多、衣浦東部	集団かぜの発生について (2018-2019 シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran18-19.pdf
3 月 5 日	春日井	
3 月 7 日	春日井、知多	
3 月 8 日	西尾	

【参考ページ】

名古屋市: 集団かぜによる学級閉鎖等の状況 (3 月 12 日更新)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0-0.html>

豊田市: 豊田市内でのインフルエンザ、集団かぜの発生状況(2月28日更新)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/kenkou/eisei/1003067.html>

豊橋市: インフルエンザの流行状況 (3 月 11 日更新)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6893.htm>

岡崎市: インフルエンザ、集団かぜの発生状況 (3 月 12 日更新)

<http://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1107/1146/p015469.html>

インフルエンザ【3 月 7 日警報解除】

すべての保健所で警報継続の指標(定点当たり報告数 10)を下回ったことから、愛知県は 3 月 7 日にインフルエンザ警報を解除しました。

10 週の定点当たり報告数は 2.99、9 週 954 人→10 週 584 人です。2018/2019 シーズンに病原体定点等から寄せられた検体より A 型(AH1pdm09、AH3)及び B 型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】愛知県域の「インフルエンザ警報」を解除しました(3月7日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/30influ-kaijyo.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

伝染性紅斑(図)

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。10 週の定点当たり報告数は 0.36、9 週 59 人→10 週 65 人(1.10 倍)です。

麻しん・風しん(3 月 13 日現在、診断日集計)

愛知県の 2019 年麻しんの報告数は 29 件(うち 1 月 14 件、2 月 11 件、3 月 4 件)です。愛知県の 2018 年麻しんの報告数は 37 件、2017 年総報告数は 1 件でした。全国の 2019 年 9 週(診断週)までの累積報告数は 285 件、2018 年の総報告数は 282 件です(2017 年総報告数は 189 件)。

愛知県の 2019 年風しんの報告数は 21 件(うち 1 月 4 件、2 月 11 件、3 月 6 件)です。愛知県の 2018 年風しんの報告数は 119 件、2017 年総報告数は 3 件でした。全国の 2019 年 9 週(診断週)までの累積報告数は 768 件、2018 年総報告数は 2,917 件です(2017 年総報告数は 93 件)。

麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの平成 30 年度の第 2 期対象者(平成 24 年 4 月 2 日~平成 25 年 4 月 1 日生まれ)は平成 31 年 3 月 31 日までが期限です。早めに接種しましょう。

【参考ページ】麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/content/000480372.pdf>

麻しん(はしか)の発生について <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000013280.html>

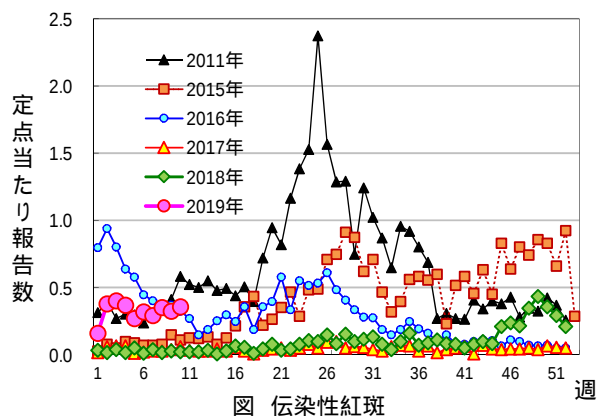
名古屋市: 市内における麻しん(はしか)の発生状況 <http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-4-3-9-0-0-0-0-0-0.html>

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2019) http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2019.html

疾患別ウイルス検出状況 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は 2 回受けましょう http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000070318.html>



定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- ヒトメタニューモウイルス感染症 5例(5歳~7歳)
肺炎合併例あり
ロタウイルス腸炎 6歳
インフルエンザはB型 1例のみ
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 便ノロウイルス 1名
【一宮市 ささい小児科】
- 感染性胃腸炎少し多い
インフルエンザA型 1名 B型 4名
5歳男 インフルエンザB型に伝染性紅斑合併
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- 溶連菌 4名
感染症少なくおちついてます。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- インフルA 2例のみ
ヒトメタニューモ 15例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- インフルエンザはB型が1名のみ
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- インフルエンザA 3名
インフルエンザB 1名
【北名古屋市 田中クリニック】
- 溶連菌散発でした。
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 4名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
- インフルエンザA型 3名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザA型 4名
胃腸炎 19名
ヒトメタニューモウイルス 2名
【日進市 みやがわクリニック】
- 成人 インフルエンザA型 1名
溶連菌感染症持続
今週も hMPV とと思われる症例が目立ちました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザ陽性報告 9名(成人4名、小児5名、すべてA型) fluは減っています。
ロタが増えています。
RSVは多いままです。
【春日井市 春日井市民病院】
- 溶連菌、胃腸炎目立ちます。
アデノ 2例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザはA型 7例です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 27歳女 病原大腸菌O125(+)VT(-)
インフルエンザA型 2名
【半田市 林医科歯科医院】
- インフルエンザA型 2名
インフルエンザB型 1名
感染性胃腸炎多い
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 3歳男 ヒトメタニューモ 2名
インフルエンザA型 1名
1歳女 アデノウイルス
1歳男 RSウイルス
溶連菌感染症 5名
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザ減りました。全員A型です。
(今シーズン2回目 1名)
ノロウイルス胃腸炎 1名(2歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザA型 4名
インフルエンザB型 1名
ロタ 1名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- StrepA(+) 2名
hMPV(+) 2歳男
アデノウイルス感染症 5歳女
ロタウイルス腸炎 1歳女 2名
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルA型 1名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルA型 1名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- インフルエンザA型 2名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- ヒトメタニューモ 2歳男
ロタ 5歳男
溶連菌感染症は目立ちます。
インフル 4例(Aのみ)
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ 全てA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザ 1名 A型
【岡崎市 栗屋医院】
- インフルエンザA 11人
インフルエンザB 1人
アデノ(+) 4歳女
【岡崎市 にいのみ小児科】
- インフルエンザ感染症例は急速に減少しました。
全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザ 全てA型
【岡崎市 医療法人糸洲医院ともキッズクリニック】
- インフルエンザA型 9名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- ヒトメタニューモウイルス 3名
インフルエンザA 6名
インフルエンザB 7名
【知立市 宮谷クリニック】
- インフルエンザ A型 7名 B型 0名
【西尾市 西尾市民病院】
- インフルエンザ散発(A型 8人)
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- インフルエンザ 4件(A型)
【豊橋市 豊橋市民病院】
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヒトメタニューモ
ウイルス感染症が時々います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA型 2名
【豊橋市 医療法人山本内科】
- インフルエンザA型 2名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザB型 1名
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザA型 19名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- ヒトメタニューモウイルス(+) 8歳男
【新城市 新城市民病院】
- インフルエンザA型 5名
【豊川市 豊川市民病院】
- インフルエンザA型 6人
【豊川市 ささき小児科】
- ヒトメタニューモウイルス
1歳男 1例
10か月女 1例
1歳女 1例
4歳女 2例
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】
- ヒトメタニューモ 2名
インフルエンザA 12名
マイコプラズマ 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2019年3月13日現在

ー 三類感染症

<関連リンク> 届出基準

- 結核（二類感染症）<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun190101.pdf>

報告保健所	2019年10週報告数			2019年総計(1～10週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	13	2	5	110	23	35
豊田市				4		1
豊橋市	3		1	12	2	5
岡崎市	1			5	2	
一宮	3	1	1	12	2	4
瀬戸	4	2	1	19	9	5
半田				4	2	
春日井	2			23	4	8
豊川				7		
津島	3	1		19	5	3
西尾				6		1
江南	2		1	10	1	3
新城						
知多				7		5
清須	2	2		4	3	1
衣浦東部	1			19	3	4
合計	34	8	9	261	56	75

- 細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	感染地域
1	名古屋市	9歳	男	2 / 25	2 / 26	3 / 2	国内

- 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊橋市	10歳	男	2 / 27	2 / 28	3 / 4	O157、VT2(+)
2	豊橋市	8歳	男	3 / 1	3 / 1	3 / 5	O157、VT2(+)
3	豊川	49歳	男	3 / 4	3 / 6	3 / 7	O157、VT型不明
4	衣浦東部	37歳	男	- / -	3 / 10	3 / 10	O111、VT型不明 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● A型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	一宮	28歳	男	無	不明

● デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	知多	29歳	男	デング熱	タイ

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	51歳	男	肺炎型	国内
2	春日井	82歳	男	肺炎型	国内
3	春日井	90歳	女	肺炎型	国内

● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	68歳	男	不明	国内	無
2	瀬戸	52歳	男	医療器具関連感染	国内	無
3	豊川	61歳	男	以前からの保菌	国内	無

● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	78歳	男	国内

● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	知多	27歳	男	AIDS	不明	不明

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	75歳	女	不明	国内
2	名古屋市	72歳	女	不明	国内
3	名古屋市	70歳	女	無	国内
4	知多	70歳	女	不明	国内
5	衣浦東部	3歳	女	有	不明
6	衣浦東部	51歳	女	無	不明

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	70歳	男	無症候	不明	不明
2	名古屋市	24歳	女	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	29歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	22歳	女	無症候	性的接触	国内
5	名古屋市	32歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	瀬戸	40歳	女	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	10歳	男	有（追加接種有）	家族内感染
2	名古屋市	8歳	男	有（追加接種有）	国内
3	名古屋市	10歳	男	不明	国内
4	名古屋市	11歳	男	有（追加接種有）	国内
5	名古屋市	0歳	男	無	国内
6	名古屋市	13歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）
7	豊橋市	0歳	男	無	国内
8	豊橋市	73歳	男	不明	国内
9	津島	14歳	女	有（追加接種有）	国内
10	津島	11歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
11	江南	4歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
12	知多	13歳	女	有（追加接種有）	国内
13	清須	9歳	男	不明	国内
14	衣浦東部	11歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）

● 風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	30歳	男	有	国内
2	豊田市	34歳	女	不明	国内
3	岡崎市	42歳	男	不明	国内
4	瀬戸	33歳	女	有	国内

● 麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	36歳	女	不明	国内
2	豊田市	29歳	女	無	フィリピン
3	瀬戸	46歳	男	不明	フィリピン

2019年2月報

(2019年3月12日現在、診断週に基づく集計)

2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2018～2019年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2019年2月			2019年 累計 <愛知県全体>	2018年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	76 (21)	48 (17)	124 (38)	222 (62)	1,554 (417)
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	6 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	5 (1)	1 (0)	6 (1)	10 (2)	154 (46)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	1	1	1	6
	A型肝炎	2	1	3	4	35
	エキノコックス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	2
	デング熱	2	1	3	6	22
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	2
	類鼻疽	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	4	3	7	17	162
	レプトスピラ症	0	0	0	0	1
五類 (24)	アメーバ赤痢	4	0	4	13	45
	ウイルス性肝炎	0	0	0	3	7
	内訳	B型	0	0	3	6
		その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	9	2	11	21	156
	急性弛緩性麻痺** (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	0	11
	急性脳炎	3	1	4	20	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	4	8	15	44
	後天性免疫不全症候群	4	6	10	14	97
	内訳	無症候性キャリア	0	5	5	70
		AIDS	3	1	4	24
		その他	1	0	1	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	8	33
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	11	7	18	41	212
	水痘(入院例に限る。)	1	1	2	4	28
	梅毒	13	22	35	66	454
	内訳	無症候	2	8	10	125
		早期顕症	11	14	25	315
		晩期顕症	0	0	0	14
		先天梅毒	0	0	0	0
	播種性クリプトコックス症	1	0	1	1	17
	破傷風	0	0	0	0	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2
	百日咳*	16	19	35	90	430
	風しん	6	7	13	17	119
	麻しん	10	3	13	27	37
総 計		171	129	300	604	3,697

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

** 2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2019年2月			2019年 累計	2018年 総計
			愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	25	37	62	136	894
		女	37	22	59	100	681
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	7	11	18	37	242
		女	12	6	18	47	336
	尖圭コンジローマ	男	9	13	22	42	217
		女	2	2	4	8	105
	淋菌感染症	男	11	23	34	89	552
		女	4	1	5	13	78
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		83	2	85	172	984
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		8	1	9	17	120
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	1	2

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2019年2月			2019年 累計	2018年 総計
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	0	3

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

2019年10週(2019年3月4日～2019年3月10日)

[illegible]

2019年10週(2019年3月4日～2019年3月10日)

愛知県衛生研究所

[illegible]